

タイ語コンテスト2019 講評

加納寛

今年度のタイ語コンテスト課題は、AKB48の姉妹グループであるBNK48の『Koisuru Fortune Cookie (คู่ที่เสียพราย)』の暗唱でした。この曲は、タイで2017年に配信され、ダンス動画が大流行しました。老いも若き(幼き)も男も女も、ダンスで盛り上がり、様々な動画がインターネットにアップされています。なかには、王女が歌い踊る動画もあり、話題になりました。テンポの良さから、場を盛り上げやすい曲だと思います。

当日は、開始時間まで10分以上ある会場に入って見てビックリ！参加者たちが会場のアチコチで輪になって踊りまくっていました。スゴイ熱気です！コンテストは、29名の参加で行われました。なぜか「へ〜へ〜い〜い」と「かもん、かもん、かもん、べいべ〜」しか言わない、英語(?)コンテストと間違えてんじゃねえのかという参加者もありましたが(参加賞なし!)、多くの参加者は緊張しつつもノリノリで歌い切り、なかには完璧な振り付けのダンスをつける猛者までいました。

審査は、担当教員1名とタイ人ネイティブ2名の3名で行いましたが、2位と3位は同点(事前に参加者に伝えてあったとおり、タイ人ネイティブの評価が高いものを上位としました)、3位と4位は300点満点中2点差、4位と5位も2点差という、かなりの接戦となりました。10位くらいまでは僅差でしたので、惜しくも賞を逃した方々も自信を持っていただいよと思います。1位は経営学部、2位は法学部、3位は経済学部、(表彰対象ではありませんが)4位・5位は国際コミュニケーション学部というように、どの学部の参加者も健闘していました。

タイ語コンテストは、将来、参加者がタイ人と一緒に働く際に「歌って踊る」ことによって円滑なコミュニケーションの一助としようとする意図をもっています。是非、タイでのボランティアや、卒業後のお仕事にも活かしていただければ、こんなに嬉しいことはありません。